



公民館報 こもろ

No.906

令和7年 8月号

発行 / 小諸市公民館
編集 / 館報編集委員会
〒384-0801 長野県小諸市甲 1275-2
TEL 0267-23-8880 / FAX 0267-25-2224

小諸市深沢溪谷に佇む深沢ダムは、およそ 1,200m 前後の高地に位置し、地域の水資源を支える重要な施設です。

毎年 5 月 5 日には、深沢水系の維持管理活動の一環として、「小水分け」と呼ばれる分水プールと水路の清掃が行われます。この活動は滝原区の担当者によって実施され、堆積した土砂やゴミを取り除くことで、円滑な水の流れを確保します。同様の清掃活動は他の地区でも行われ、地域の皆さんが協力して水資源を守る伝統が受け継がれています。



◆内容

p.25 「今支館・分館では」(三岡支館／和田分館)
p.26 「人ひと」(小諸の民話を語り継ぐ朗読「わ」の会)
～27 「みんなの宝物」(御影区 木曾茂さん) ほか

p.28 【お知らせ】こもろ寄席 三遊亭好楽独演会ほか
p.29 「ぼくとわたしの作品」(芦原中学校) ほか



カラー版はこちら

冷やし中華やビビン麺も良いが、日本人なら「そうめん」だ。トマトなど夏野菜を中心にさっぱりといただきたい。イタリアの極細パスタ「カップペリーニ」で作る冷製パスタもおすすすめ。コンソメのあっさりとした冷たいスープにコシのあるアルデンテで召し上げ。

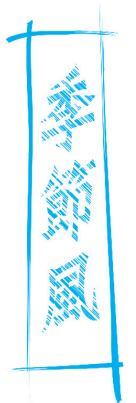
冷やしゴマしゃぶの豚バラと一緒にいただく「揚げ餅」。お餅は古来より力餅と称される食べ物で、まさに元気100倍。

お盆を過ぎればなんとやら。おいしい食事でバテない体を作り、元気に夏を過ごしましょう。

編集委員 中村 完二郎

連日の暑さが厳しい中「あつーい！」と言いつつ元気に登校する子どもたち。だが大人たちは夏バテで食欲がなくなり、さらに体力も失われていく。冷たい麦酒で夏を果敢に乗り越えようと言いたいところだが、食欲がない時に食べられるメニューを知っておくと便利。

まずは「うなぎ」。ビタミンA群とB群が豊富に含まれて疲労回復と食欲増進に良い。土用の丑の日になぎを食べる習慣は平賀源内が広めたとか。



今支館・分館では

三岡支館マレットゴルフ大会

三岡支館

5月11日(日)午後1時から、三岡支館主催のマレットゴルフ大会が、森山区のマレットゴルフ場で開かれました。

これは毎年恒例の行事で、森山・耳取・市の分館の3役(館長・主事・会計)と、支館3役が参加します。分館の親睦を図ることを主な目的にしています。

森山区のマレットゴルフ場は、森山諏訪神社の東側にあり、神社の境内も使わせてもらっています。なおこの西にはグラウンドもあり、ソフトボール場が2面とれる広さになっています。



今回の大会は、全員参加できなかったので合計8人で行いました。マレットゴルフ場は18ホール、パー72です。4人で1グループとして2グループに分け、アウトとインでスタートしました。初めての人がいるため簡単なルール説明をしてから始めました。道具は区から借りました。

天気は丁度よい状態で、プレーが始まると徐々に気分は盛り上がり、途中で休憩をはさみ、2時間少しで終了しました。プレー中、お子さんがひとりギャラリーとして加わり、パパの応援をしていました。

そして公民館に移動し、点数の集計を行い、順位が発表されました。その後おやつとお茶が出され、休憩を取りながら連絡事項などがあり、午後4時頃解散となりました。

もちろんギャラリーのお子さんにもおやつをあげました。残念ながら今回ホールインワンはありませんでした。ただし練習の時にひとりの方がホールインワンをしたとのことです。残念無念。

三岡支館長 清水 研一

「歩く会」

和田分館

生涯学習・体育振興一貫教育としての「歩く会」が、新緑の眩しい五月晴れの中、和田区民18名が参加して行われました。

今回は、「与良・俳句のまちエリア」を対象として、小諸の観光ガイドさんと一緒に、与良区周辺の高濱虚子の住居跡である虚子庵、虚子記念館、佛光寺、八幡宮、熊野神社、野



熊野神社

岸小学校、長勝寺、與良蛭子神社などの一帯を散策しました。武田信玄にまつわる話も聞きつつ、約350年前からの庄屋宅である旧小山庄を特別に拝見させていただきました。小諸の歴史の一端を垣間見ることができ感慨深いものでした。その後、旧北国街道沿いの与良館にて、参加者で昼食をとりました。与良館のスタッフの方々の温かいおもてなしを受け、また散策で知り得た話題で盛り上がりました。

東日本大震災後、震災地域で起きている現象の一つに、急激な過疎化があります。この問題に立ち上がったのは、その地域に住む青年団の人達です。それは、「地域学」と題して、その地域内の歴史的価値を探し、勉強し合い、地域内の良いところ、悪いところなどを含め、地域住民が共有し、「コミュニケーション」を取りながら進める手法です。それらの行動



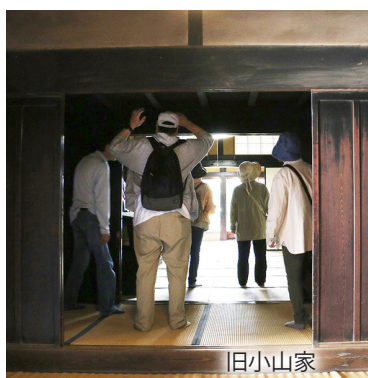
与良館の敷地内にある小諸城銭蔵内部

が、少しずつではありますが地域活性化に繋がり、全国の過疎化が進む地域に波紋を広げています。

和田分館主催の「歩く会」は、このような事例を参考に、区民が小諸の歴史を学び、勉強し合い、味わっていたきたいことと、散策による体力づくりにも繋がるの思いで始めた事業です。今回で9回目となりました。

人や地域の繋がりが希薄になってきている時代だからこそ、地域住民のコミュニケーションづくりへの取り組みの必要性を感じています。公民館の役割の重要性が増してきているといえます。

和田分館長 飯塚 清



旧小山庄

和田分館の事業は、学びのまち・こもる出前講座の「観光ガイドと一緒に小諸の観光地めぐり」を利用しています。出前講座について、詳しくは公民館報5月号をご覧ください。



「小諸の民話を語り継ぐ 朗読「わ」の会」

■子どもたちと楽しいお話会

市立小諸図書館「すみれちゃん」のへや」から子どもたちの声が響いてきます。朗読「わ」の会による「おはなし玉手箱」の日は「ありがとう」をテーマに読み聞かせや紙芝居を親子連れなど30名余の参加者にとどけました。「わ」の会は東さんらメンバー5人で小諸の民話を語り継ぐ活動と市内各



代表 東 澄子 さん

■本「むかしの話小諸の民話」 との出会い

2019年、野岸小学校4年1組の総合学習で小林小婦美さんと田中邦さんから「むかしの話 小諸の民話」誕生の話を聞きました。1971年、同世代の子どもを持つお母さんたちが読み聞かせして感想文集を作った時、自分たちも物語を書いてみたいとノートと筆記用具とおにぎりを持ち小諸市内

所でおはなし会や朗読会を開催しています。

■朗読「わ」の会の結成

2007年旧図書館の館長の提案で始めたお話会は、東さんらが「おはなし玉手箱」と名付けました。その後、加藤さん、饗場さん、竹内さん、清水さんが加わりました。

おはなし玉手箱のメンバーは、2012年に当時野岸小学校司書をされていた今は亡き和田嘉壽子先生を指導者に迎えて、朗読の基礎を学ぶ「わ」の会を結成しました。会の名称の「わ」は和田先生の「わ」、民話の「わ」などの思いを込めました。

で民話を集め、聞いた話を分かりやすくする再話作業を坂の上小学校の校長先生からご指導いただいたて、2冊の本が誕生したそうです。同席した東さんらは改めてご苦労と想いを感じたと話されました。その後、担任の先生や児童との手紙の交換、小諸の民話「六地藏さま」の劇発表会に招待されるなど交流が広がり、民話がつなぐ縁を感じました。小林さんと田中さんからは「ぜひ民話を広めてほしい、後世に伝えてほしい」と託されました。民話は読まない、語らないと消えてしまふ。絶版になった貴重な2冊の本を活かして語り継ごうと決意しました。

■本の楽しさを伝え、自らも 高めていきたい

「小学校・老人ホーム・地区の公民館・女性学級など活動の幅は広く、訪れた地区の民話を読むように心がけています。民話を聞いた高齢者の生



左から竹内さん、加藤さん、東さん、饗場さん、清水さん（朗読「わ」の会）

き生きた表情が印象深い」と東さんは話します。小諸の子どもたちに本を読むことの素晴らしさや本を読む習慣を、佐久大学では学生たちに地域に役立つボランティア活動を伝えてきました。

和田先生亡き後は、本途人舎の大林さん、CTK後藤さん、元NHKアナウンサー青木裕子さんらのご指導をいただき、自主的な勉強会を通じて培ってきたものを大切にして、これから活動を続けていこうと意欲的です。

編集委員 市川 強

小諸市文化センター ☎ 0267-23-8880

エッセイに挑戦

エッセイの書き方のコツを伝授します

講師：文化財・生涯学習課社会教育指導員 小林幹知さん

◇日時 9/18 (木)、10/16 (木)、11/18 (火) 10:00～11:30

◇場所 会議室

◇費用 無料 ◇定員 10名

◇持ち物 筆記用具・ノートまたはパソコン

◆申込 8/8 (金)～22 (金)

チェロとピアノのデュオコンサート

夏の終わりのハーモニー

演奏者：外山賀野さん / 腰原菜央さん

◇日時 8/30 (土) 14:00～

◇会場 小諸市市民交流センター
ステラホール

◇費用 1,000円

◆申込 8/2 (土)～22 (金)

主催：小諸市民大学 / 共催：女性学級



みんなの宝物

「御影用水 五社」

御影用水・陣屋応援隊

御影区 木曾 茂

御影用水は江戸時代の初期に開かれ管理と災害の歴史を重ねてきています。毎年5月の初旬、軽井沢町里池のほとりに立つ五社宮で1年間の安全と豊作を

願って五社祭礼が行われます。江戸時代は天変地変を神の怒りと思っていました。五社宮には守護神である秋葉神社、権十稲荷、弁財天神社、山の神、用水を開発した柏木小右衛門の碑の他、千加瀧滝碑文、不動尊が祀られています。いずれ



も御影用水の上堰、下堰の守護神で古くは其々のいわれのある場所に設置されていましたが、平成12年5月にこの場所に合せて祀られました。不動尊は文字どおり「動かない」という意味があり千ヶ滝が枯れることの無いよう願ったのでしょう。不動尊の光背は炎で知られていますが、御



影用水にある不動尊の光背は滝です。

山の神は、春になると山から降りてきて田の神となり、秋には再び山に戻るといいう信仰が農民の間ではあります。

秋葉神社は火防・火伏せの神として広く信仰されていますので、浅間の噴火がない事を願ったのでしょう。

権十稲荷は、今で言う台風が千ヶ滝西区を襲った時、用水の氾濫を防ぐために権十という人物が見回りに行き、その帰り道で狼に襲われ一命を落しました。その責任感が強く用水を守った精神を讃えて守護神としました。



里池

弁財天は仏教の守護神の一つで、仏教の尊格ですが、日本では神道の神とも見なされ、七福神の一員です。經典に準拠した漢字表記は本来「弁才天」ですが、日本では「才」が「財」の音に通じることから財宝神としての性格が付与され、「弁財天」と表記することもあります。インドでは仏教より古い神様で、「聖なる河の名」を表わす言葉からきています。

9月開講公民館講座

申込みは、窓口、電話（9:00～17:00）または、ながの電子申請（小諸市HP）。

歩いて学ぶ小諸城址懐古園

最新の発掘調査成果の見学と
現地の散策を通して小諸城の醍醐味を知る

講師：文化財・生涯学習課文化財係長 高橋陽一さん

◇日時 9/3 (水) 10:30～12:00 第一講義室
9/17 (水) 10:00～12:00 現地視察

◇費用 無料 ◇定員 20名

◆申込 7/29 (火)～8/12 (火)



講座の
申し込みは
コチラ



初めてのチョークアート講座

オイルパステルと指を使って、
お部屋に飾るインテリアボードを作ろう！

講師：Chalkart Design "Pokke" 松原絵里さん

◇日時 9/9 (火) 10:00～12:00

◇場所 会議室

◇費用 500円 ◇定員 10名

◆申込 8/2 (土)～15 (金)



第 38 回小諸市短詩型文学祭 作品募集

●投稿規定

- ①投稿作品：短歌部門 2 首 / 俳句部門 3 句 / 川柳部門 3 句
- ②投稿資格：小諸市及び東信地区に在住する方、事業所に勤務する方、活動する各部団体、通学する小中高生
- ③応募用紙：所定の応募用紙（コピーでも可）を使用し、住所・氏名・電話番号を記入する。（雅号の場合も本名を書く）
楷書で書き、必要箇所にはふりがなをつける。（用紙は文化センター・文化協会所属結社にあります）
- ④投 稿 料：一部門一組につき 1,000 円（各部門とも一人一組）※小中高生及び介護施設からの投稿は無料
★投稿者には作品集を配布します。

●投稿方法

- ①締切日：9/12（金）消印有効
- ②投稿料：作品と一緒に事務局に提出、または郵便小為替を郵送

●表彰式及び分科会

- ・日時 12/13（土）13:00 ～ 16:00
- ・会場 小諸市文化センター

投稿先及び問合先 小諸市文化協会事務局（小諸市文化センター内）
〒 384-0801 長野県小諸市甲 1275 番地 2 TEL 0267-23-8880

こもろ寄席 三遊亭好楽独演会



令和 7 年 **11 月 22 日（土）**

開演 14:00（開場 13:00）

会場 小諸市文化会館ホール

全席 指定	一 般	3,000 円
	高校生以下	1,000 円

※本公演は未就学児のご入場はお断り致します。

チケット発売開始
8/22（金）10:00
窓口または web にて



瞳ナナ（マジシャン）

魔女軍団スティファニーメンバー。
マジック界のアイドルとして
ソロデビュー。
指先のマジックから、
大がかりな
イリュージョン
までこなす。



【プレイガイド】 ● 小諸市文化センター 9:00 ～ 17:00（月・祝日の翌日を除く）
● EVENT-NAGANO[イベントナガノ] <https://www.event-nagano.net/>
問合せ 小諸市文化センター TEL 0267-23-8880

主催 小諸市・小諸市文化会館自主事業実行委員会 / 協力 アオイスタジオ



「第65代生徒会」 3年3組 白鳥 紗菜

第64代から第65代へと生徒会は引き継がれ、私たち役員は新たな一歩を踏み出しました。

3月には第65代生徒会としてお世話になった先輩方のために、「3年生を送る会」を企画・運営しました。その会では、ムービー動画や、会場の装飾、1、2年生から3年生へのモザイクアートなどを準備しました。一つ一つに初めてのことが多く、戸惑うこともありましたが、一人一人が自分のやるべきことに向き合い役員一丸となって作り上げました。特に1、2年生全員で作るモザイクアートや、ムービー動画は時間がかかり大変でした。

しかし、作っているときの楽しさや、作り上げたときの達成感は今でも忘れないほど心に残っています。3年生を送る会当日では、3年生が感動している姿や、楽しんでいる姿を見ることができて、役員になったことに誇りを感じました。

これから様々な課題に直面することがあると思います。その時は仲間と協力し、私たちらしく前進して、第66代へ繋げていきたいです。



「第65代生徒会」 3年4組 土屋 快成

芦原中学校の生徒会では、生徒会スローガンに「繋」を掲げて活動を行っています。

この「繋」には、学年内の人達との「繋がり」、学年を超えた他学年の人達との「繋がり」、さらには今までの先輩方に「繋いで」もらった伝統をこの先へも「繋いでいく」というように、たくさんの意味が込められています。他にも「役員心得」という、全校が輝ける場所を作るための役員が大事にするべき決まりを作るなど、役員全員で全校のためになる生徒会運営を心掛けています。

これからは、全校レクや、文化祭、地域レク、その他にもたくさんの委員会で全校が楽しむことが、できるような企画を行うつもりでいます。

時には、なかなかいい案がでなかったり、企画の進行がうまくいかずに困ったりすることもあります。そういう場合には役員で話し合ったり、いろんな人に助言をもらうなどして、いい企画を作れるようにしています。先輩方の繋いできた伝統をこの先にも繋いでいける生徒会を全校で作り上げていきたいです。

小諸市文化会館自主事業 第38回 小諸市民音楽祭 参加者募集 !!

開催日 令和7年11月29日(土) 開演 14:00(予定) 会場 小諸市文化会館ホール

■参加条件 小諸市に活動拠点がある5人以上の団体

※1団体あたりおおむね10分以内(準備、片付け含む)。反響板を使用するため発表方法に一部制限あり。

■参加料 無料

■参加申込 7/29(火)~8/29(金)

申込・問合先 小諸市文化センター TEL 0267-23-8880

8/1(金) 施設予約開始

※乙女湖体育館は、令和7年4月1日に小諸市公民館に統合されました。

施設名	利用月	施設名	利用月
公民館	R 7/10	文化会館	R 8/8

